

2022年
後半から
実施予定

75歳以上高齢者の 医療費窓口負担

2倍化

ストップを

コロナ禍ですべての人の命と健康が脅かされ、安心して受けられる医療体制の拡充こそ求められているときに、75歳以上の医療費窓口負担（現在原則1割）に2割負担が導入されようとしています。当面、単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯では合計年収320万円以上が対象（合わせて約370万人）。2022年後半から実施される予定です。

神奈川から4万筆超の署名提出

神奈川県社会保障推進協議会などがとりくんだ「75歳以上の医療費窓口負担2割化中止署名」が4万1807筆、国会提出（3月末時点）。引き続き署名を広げています。

許せません 高齢者の受診抑制が目的

こんな法律、通したのは **自民 公明 維新 国民民主**

ひどいのは、政府が今度の2割負担導入による「受診行動」の変化で医療給付額が年間1050億円減ると試算するなど、受診抑制によって公的な社会保障費を削減するのが目的。高齢者にとって、受診控え、通院や薬を減らすことは病状悪化に直結し、命にかかわる問題です。

昨年の通常国会（6月）で、この「高齢者医療費2倍化法」に賛成したのは、自民、公明、維新、国民民主党。

日本共産党は、「必要な医療が受けられなくなることを前提に負担増を強いるのは、高齢者の命を削り、尊厳を脅かすもので断じて許されないと、きっぱり反対しました。



医療費窓口
負担2倍化



夏の参院選で
怒りの声あけ

日本共産党を伸ばして 2倍化の実施を中止させましょう

今回の高齢者への大幅負担増の口実にしている現役世代の保険料負担軽減額は月約30円にすぎません。この間減らしてきた高齢者医療の国庫負担割合を

元に戻すことこそ急務です。今年の夏は参議院選挙—日本共産党を伸ばして、医療費窓口負担2倍化の実施を中止に追い込みましょう。

あさか由香 日本共産党

参議院神奈川

プロフィール●1980年横浜市鶴見区生まれ（旧姓・金谷）。筑波大学国際総合学類卒。民間企業のシステムエンジニア、国際運送業に関わる。世界から貧困と紛争をなくしたいと数々のボランティアに携わり、日本共産党に入党。現在、党神奈川県副委員長。家族は夫と子ども3人（10歳・6歳・0歳）。75歳以上の医療費窓口負担2倍化の実施中止をかかげる。



ライン公式

8時間働けばふつうに暮らせる社会へ

2022年 4月号外

日本共産党の見解を紹介します。

革新のひろば

発行 日本共産党神奈川県委員会
住所 横浜市神奈川区西神奈川1-18-12
電話 045(432)2101 FAX 045(432)2103

〔制度解説〕
参議院選挙
の投票方法

比例代表は政党名（候補者名でも有効です）
選挙区は候補者名で投票します。